

## 確認事項

立憲民主党幹事長	福山 哲郎
国民民主党幹事長	古川 元久
日本共産党書記局長	小池 晃
無所属の会幹事長	大串 博志
自由党幹事長	玉城デニー
社会民主党幹事長	吉川 元

昨日、愛媛県から国会に新文書が提出されたことを受けて、野党5党1会派の幹事長・書記局長は以下の認識を共有した。

- これまで一年にわたり安倍総理が国会で虚偽答弁を繰り返してきた疑いがより強まったと言わざるを得ない。立法府と行政府の信頼関係が失われ、安倍総理の進退が問われる重大な局面を迎えた。
- 獣医学部新設が「はじめに加計ありき」「官邸ありき」で始まったことが新文書から明らかになった。「首相案件」「官邸の最高レベル」「総理のご意向」という文言の信憑性はより深まった。これまでの安倍総理ならびに政府の説明とは全く異なっており、柳瀬元秘書官の参考人質疑も事実を語っていない。言語道断である。
- 愛媛県からも公文書という形で国会に提出された以上、反証は政府・与党の責任である。もし、新文書の内容と異なる事実を示したいのであれば、与党は、柳瀬唯夫元総理秘書官と加計孝太郎理事長の証人喚問、ならびに中村時広愛媛県知事の参考人招致を拒否するべきではなく、速やかに実現すべきである。
- 真相究明が最優先であり、速やかに十分な時間をとって、複数回の集中審議を開催すること。
- 強引な運営の下での法案審議、強行採決は絶対に認められない。
- 本日からあらゆる委員会、本会議の場で、野党5党1会派は徹底追及していくことを、各党の各委員に指示する。

以 上